

令和3年度

シラバス

青翔開智中学校

第1学年

もくじ

国語	3～4
社会	5～6
数学	7
理科	8
英語	9
探究基礎Ⅰ	10
音楽	11
美術	12
保健体育	13～14
技術・家庭科	15～16
道徳	17

教科名	科目名			単位数	学年・コース
国語	現代文			3	中学1年
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
学習内容の概要	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成するための事項について指導する。 なお、授業冒頭には漢字の小テスト及び、新演習テキストのテストを週1回程度実施する。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。		言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	テスト	60%	平常点	40%	
教科書・教材等	国語1(光村図書)、ワーク 光村図書「国語1」準拠(育伸社)、【新版】標準 新演習中1(エデュケーション・ネットワーク)、セレクト漢字検定5級～2級(桐原書店)、ジャポニカ学習帳 漢字練習帳200字、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)				
授業形態	一斉				

年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ	
1	4	「朝のワレ」／「野原はうたう」 読む(詩)	4	○	7	15
		「シンシュン」 読む(物語)	4			
	5	「ダイコンは大きな根？」／「ちょっと立ち止まって」 読む(説明)	5			
		「情報を集めよう／読み取ろう／引用しよう」 情報	2			
	6	「情報を整理して書こう」 書く	4			
		「ビプリオバトル」 話す・聞く	9			
	7	「詩の世界」／「比喩で広がる言葉の世界」 読む(詩／説明)	3			
		「読書を楽しむ」／読書感想文 読書・書く	3			
2	8	「大人になれなかった弟たちに…」 読む(物語)	6	○	1	8
	9	「星の花が降るころに」 読む(物語)	6			
		「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 読む(記録)	6			
	10	「根拠を示して説明しよう」 書く	6			
		「話題や展開を捉えて話し合おう」 話す・聞く	6			
	11	「『不便』の価値を見つめ直す」 読む(意見)	6			
		「助言を自分の文章に生かそう」 書く	4			
	12	「考える人になろう」 読書	3			
3	1	模試対策	3			
		「少年の日の思い出」 読む(小説)	8			
	2	「随筆二編」 読む(随筆)	2			
		「体験を基に随筆を書く」 書く	4			
	3	「一年間の学びを振り返ろう」 話す・聞く	6			

教科名		科目名		単位数	学年・コース				
国語		古典		2	中学1年				
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。							
学習内容の概要		「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成するための事項について指導する。 なお、授業冒頭には五色百人一首（橙20首・黄緑20首）の解説を実施する。							
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
		社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを誰かなものにすることができるようにする。		言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
評価の方法		テスト	60%	平常点	40%				
教科書・教材等		国語1(光村図書)、ワーク 光村「国語1」準拠(育伸社)、新しい書写1年用(教育出版)、ピジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、【新版】標準 新演習中1(エデュケーション・ネットワーク)							
授業形態		一斉							
年間学習計画									
学期	月	単元名・学習内容など			時数	探究	タグ		
1	4	言葉の単位(文法)			4	○	15		
		姿勢・筆記具の使用方法(書写)			2				
	5	文の組み立て(文法)			5				
		指示語・接続語(言葉)			4				
	6	単語の分類(文法)			4				
	7	楷書(書写)			5				
2	8	名詞(文法)			2				
		動詞(文法)			6				
	9	形容詞(文法)			3				
		形容動詞(文法)			3				
	10	楷書と仮名の調和(書写)			5				
	11	蓬萊の玉の枝「竹取物語」(古文)			8				
12	行書を書く(書写)			4					
3	1	今に生きる言葉(漢文)			9			○	15
	2								
	3	行書を書く(書写)			5				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	地理	2	中学1年	必修
科目の目標	広い視野に立って、地理的分野に対する関心を高め、諸資料に基づいて多角的・多面的に考察する力を付ける。			
学習内容の概要	世界全体の姿、気候、生活習慣などの概要を捉えた後、日本の諸地域について様々な視点から考察する。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。	地理的課題を見だし、地域的特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
評価の方法	単元末テスト	60%	成果物・提出物 ・各活動における意欲と態度	40%
教科書・教材等	新しい社会 地理(東京書籍)、中学社会科地図(帝国書院)			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	○世界の姿	・地球儀と世界地図 ・地球上の位置	8		
	5	○世界各地の人々の生活と環境	・世界の様々な住居	12		
	6		・世界に見られる様々な気候と広がり			
	7		・人々の生活に根付く宗教 ・これが私のAroundTheWorld		○	3 12 17
2	8	○世界の諸地域	・アジア州	8		
	9	○世界のさまざまな地域の調査	・ヨーロッパ州	8		
	10		google earth でプロジェクト作り	4	○	3 12
	11		・アフリカ州	8		
	12		・北アメリカ州	8		
3	1		・南アメリカ州	8		
	2		・オセアニア州	8		
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	歴史	2	中学1年	必修
科目の目標	日本の国土と歴史に関する理解を深め、公民としての基礎的教養を身につける			
学習内容の概要	1年次は古代から近世までの歴史を学習し、日本の移り変わりや世界の流れを関連付けながら多面的に考察していく			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる	歴史的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。	
評価の方法	テスト点 60% 平常点 40%			
教科書・教材等	新しい社会歴史（東京書籍）、中学必修テキスト社会歴史			
授業形態	一斉			

年間学習計画							
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	○歴史の流れ	・歴史学習のはじめに ・歴史の大きな流れを見てみよう	3 3	○		
	5	○文明の起こりと日本の成り立ち	・四大文明と日本の成り立ち	4			
			・縄文文化と弥生文化	4			
	6		・聖徳太子と大化の改新 ・平城京と天平文化	4 4		12	
2	7	○古代国家の歩みと東アジア世界	・平安京と東アジアの変化 ・摂関政治と文化の国風文化	4 4	○	4	
	8			2			
	9	○武士の台頭と鎌倉文化	・武士の成長 ・武家政権の成立 ・鎌倉時代の文化と宗教	4 4	○		
	10			2		12	
	11	○東アジア世界とのかかわりと社会変動	・元寇、南北朝～室町幕府、東アジアとの交流 ・応仁の乱～戦国時代	4 4			
3	12	○ヨーロッパとの出会いと全国統一	・ヨーロッパ文化の伝来とキリスト教 ・信長、秀吉の統一事業 ・兵農分離と桃山文化	4 4 4	○		
	1						
	2	○産業の発達と幕府の政治の動き	・享保の改革と元禄文化 ・田沼の政治と寛政の改革 ・化政文化と天保の改革	4 4 4		4	
	3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学	5	中学1年	必修
科目の目標	文字を含んだ計算やともなって変化する数量について学ぶことで、数や数量関係に関する抽象的な概念を身につけ、物事をより一般的に捉える力を習得する。また、図形の性質を通じて定義や公理、定理などの事柄を理解し、論理的に事柄を説明する力を身につける。			
学習内容の概要	「正の数と負の数」では負の数の範囲まで数を拡張し、「式の計算」では数を抽象化する。また、それぞれの四則演算に取り組む。「方程式」「不等式」では、等式や不等式の性質をもとに一次方程式、連立方程式、一次不等式、連立一次不等式の解法を学ぶ。「1次関数」では数量の変化をグラフに表し、いろいろな事象についてグラフを用いて考える。「資料の整理と活用」では様々な資料の活用方法を学ぶ。「平面図形」「空間図形」では基本的な図形の性質を学び、移動の概念を用いて角の大きさや面積・体積等を深く理解する。「図形と合同」「三角形と四角形」では定義や定理をもとに、様々な事象を証明する。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付け、事象を数量や図形などで数学的に表現し、処理する技能を身に付けている。	事象を数学的に捉えて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。		数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。
評価の方法	テスト	60%	数学的活動	20%
			態度	20%
教科書・教材等	数研出版 数学1、人工知能型教材Qubena、旺文社 中学総合的研究 問題集			
授業形態	一斉			

年間学習計画							
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	正の数・負の数(中1)	数の概念を負の数まで拡張し、実数の範囲内で四則 演算を行う。さらに、反対の量や基準値との違いを正負の数を用いて表し、負の数を活用する。	20			
	5	文字と式(中1)	文字を用いて数量を表し、物事を一般化して捉える。文字式を利用して、事柄を 説明する。	20			
	6	方程式(中1)	一次方程式を扱う。等式の性質を理解し、未知数を求める方法を学ぶ。また方 程式を用いて様々な問題を解く。	20			
	7	比例と反比例(中1)	ともなって変わる2つの数の関係について、正比例、反比例を扱う。数量関係を式やグラフ に表したり、グラフを用いて様々な問題を解いたりする。	20	○	1	9 11
2	8						
	9	平面図形(中1)	平面図形の基礎知識を整理し、図形の理解に必要な 語句や記号、さらに概念を学ぶ。	20	○	5	7 8
	10	空間図形(中1)	平面から空間へ発展し、空間における図形の位置関係を調べたり立体の体積、表面積を求めたりする。さらに、図形に対するさまざまな見方を学ぶ。	20	○	5	8
	11	資料の整理(中1)	様々な資料を用いて表やグラフに表す方法を学ぶ。	10	○	5	10 11
		式の計算(中2)	多項式の計算について学びを深める。	10			
3	12	連立方程式(中2)	二元一次方程式を扱う。代入法や加減法を用いて、2つの式を同時に満たす値を求める。	15			
	1	1次関数(中2)	ともなって変わる2つの数の関係について、1次関数を扱う。正比例の発展であることを意識し、1次関数のグラフの性質を学ぶ。	20	○	10	11
	2	図形の性質と合同(中2)	角の性質を理解し、大きさを求める。また、仮定と結論を考え、三角形の合同条件等を用いて、さ ま ざまな事柄を証明する。	10			
	3	三角形と四角形(中2)	三角形や四角形の性質をもとに様々な事柄を証明する。	10			

教科名	科目名	単位数	学年・コース
理科	科学	4	中学1年

科目の目標	自然の事物・現象についての知識・理解を深め、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。		
学習内容の概要	生命: いろいろな生物とその共通点 物質: 身のまわりの物質 地球: 活きている地球 エネルギー: 光・音・力による現象		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
	自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究する方法を身につける。	自然科学の事物・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断した事柄を的確に表現できる。	自然科学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決しようとする態度を身につけようとする。
評価の方法	単元テスト 30%	レポート 30%	成果物 20% 授業態度 20%
教科書・教材等	啓林館『未来へひろがるサイエンス1』, 新学社『理科の自主学習 1年』		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ		
1	4	いろいろな生物とその共通点 ・ガイダンス「GISを用いた生物の観察」 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類	32	○	8	12	
	5						
	6						
	7	活きている地球 ・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地	32				
2	8			○	10	11	
	9	身のまわりの物質 ・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化	36				
	10						
	11						
	12	光・音・力による現象 ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象	36				
3	1	中1のまとめ	20				
	2						

教科名		科目名		単位数	学年・コース	
外国語		英語		6	中学1年	
科目の目標		英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の向上促進を図り、聞くこと、話すこと(やり取り・発表)、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を目指す。初歩～基本的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解し、初歩～基本的なレベルの英語を用いて自分の考えなどを書いたり話したりすることができるようにする。				
学習内容の概要		上記の目標を達成するために、テキストを使用しての文法学習に加え、フォニックス・オンラインスピーキングトレーニング・多読活動・探究スキルラーニングでの多様な成果物作成と発表を通して、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の素地の習得と定着を図る。特に1学期は、フォニックスによる学習を通して、語彙学習に備えた発音とつづりの学習を行う。本学年在籍中に英検4級取得を目指す。				
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		当該レッスンにおける文法事項を含む文を正しく聞き取ったり読み取ったりすることができるか。正しく話したり音読したり、書いたりできるか。また、そこで扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか。	当該レッスンで得た知識を探究スキルラーニングに落とし込むことができるか。対話場面で流暢に発話・応答できているか。自分の考えを表現できているか。		間違えることを恐れずに積極的に、各種活動へと取り組んでいるか。また自分自身の学習を管理し、コミュニケーション能力の向上のため行動しているか。また、非母語話者を含む多様な英語やその背景にある文化を理解しようとしているか。	
評価の方法		探究スキルラーニングでの成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 全活動における意欲と態度		40%	単元末テスト	60%
教科書・教材等		New Crown I (三省堂)、はじめてのジョリーフォニックス ステューデントブック1・2(東京書籍)、 New Treasure English Series Stage1 Third Edition、New Treasure English Series Stage 1 文法問題集(以上、Z会) クラウン チャンクで英単語(三省堂)				
授業形態		習熟度別				

年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など		時数	探究	タグ	
1	4	オリエンテーション	評価等の説明	1			
			基本の42音の発音とつづり(子音・母音)	17			
	5 発音 フォニックス 多読		同音異つづり(ステューデントブック2 Unit1～16)	31			
			探究スキルラーニング① 辞書とデータベースの使い方	3	○	3	5
			同音異つづり(ステューデントブック2 Unit17～23)	14			
			探究スキルラーニング② 人の紹介を英語でしてみよう	10	○	16	
2	8	オリエンテーション チャンクで英単語 Level 0	英語辞書・文法チェックサイトの活用方法 単語帳の学習について	1			
	9	New Treasure 1 Lesson 1-2 チャンクで英単語 Step1	Be動詞の文1、Be動詞の文2	20			
	10	New Treasure 1 Lesson 3-4 チャンクで英単語 Step2	一般動詞の文1、2、疑問詞1	21			
			探究スキルラーニング③ 世界の人になりきってインスタに投稿しよう	7	○	3	5
	11	New Treasure 1 Lesson 5-6 チャンクで英単語 Step3	所有代名詞、疑問詞2、命令文・canを用いた文	20			
		New Treasure 1 Lesson 7 チャンクで英単語 Step4	現在進行形	10			
12		探究スキルラーニング④ オリジナルキャラクターを創造しよう	5	○	5	12	
	Online Speaking Training	オンラインスピーキングトレーニング受講 (計8回/10月～12月までを予定)	8				
3	1	New Treasure 1 Lesson 8 チャンクで英単語 Step5	一般動詞の過去形 探究スキルラーニング⑤ 多読本の紹介を模範し質問をしよう	13 2	○	7	21
			be動詞の過去形 be going to/ 助動詞 探究スキルラーニング⑥ 英文法の謎についてノートテイキングでまとめよう	20 6	○	1	4
	2	New Treasure 1 Lesson 9/ 10 チャンクで英単語 Step6					
3	New Crown I	1年生の総復習・長文	6				

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎 I	2	中学1年	必修

科目の目標	新たな価値をチームで創造し、アイデアを社会実装させる資質を身に付ける。
学習内容の概要	ブレインストーミングやマトリックスなどの思考ツールを活用して創造的なアイデアを出す方法を学びます。アイデアを発信するためのプレゼン技法(ゴールデンサークル)やプレゼン資料をチームで作成する方法を学びプレゼンテーションをします。
評価の観点	・思考ツールを効果的に活用できたか。 ・チームで協力して作業できたか。 ・質問者の指摘に対応できる根拠を示せたか。 ・収支計画を示すことができたか。 ・他チームの発表に疑問をもち、質問することができたか。
評価の方法	成果物 発表
教科書・教材等	学びの技
授業形態	一斉

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	オリエンテーション	図書館活用・アイデア創出に関するワーク	4	○	
		アイデアキャンブ	中1・高1合同のワークショップ	7		
	5	思考ツール	ブレスト・KJ法	2		
		思考ツール	マトリクス・共感マップ	4		
	6	フィールドワーク	アイデア設定のための実地調査	4		
		アイデア・プロトタイプ設計	アイデアの設定とプロトタイプの計画	6		
	7	プロトタイプ作成・思考ツール	プロトタイプの作成, 5W2Hと新聞作成講座	6		
プログラミングキャンブ		プログラミングを活用したプロトタイプ作成ワーク	7			
2	8	中間発表	新聞を活用したアイデアの中間発表	4		
	9	プロトタイプ作成	プロトタイプの作成	6		
		プロトタイプ作成				
	10	収支計画講座	外部講師による収支計画講座	2		
		収支計画	アイデア実施を想定した収支計画	4		
	11	図書館活用	アイデア実施のための情報収集ワーク	2		
情報整理		収集した情報の整理	4			
12	中間発表	中間発表と発表内容に関するフィードバック	4			
	アイデア修正	フィードバックを踏まえた提案内容の修正	4			
3	1	ポスター作成講座	発表用ポスター作成講座	2		
		発表資料作成	ポスターの作成	4		
	2	発表練習	発表練習と発表用展示物の準備	6		
		青開学会	成果発表会	7		
	3	青開学会振り返り	青開学会の振り返り	2		
デザイン思考活用講座		デザイン思考の活用に関するワークショップ	4			

教科名		科目名	単位数	学年・コース			
音楽		音楽	1	中学1年	必修		
科目の目標		リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを 感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。					
学習内容の概要		一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性と認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れな がら、その楽曲を形作っている諸要素や良さを感受し、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度				
	曲の持っている情景や心情を感じ、味 わいながら聴き、作曲の背景や作品を 構成する諸要素の理解を深めている。 曲想に相応しい表現を工夫し、演奏に 生かしている。	歌唱に於いて発声や言葉の意味を理 解し表現している。器楽に於いて演奏技 術の習得や音色の工夫に励んでいる。	音楽への関心が積極的に取り組む態度 になっており、グループで協力し合い、 協調性を持って取り組む姿勢を持っ ている。				
評価の方法		筆記テスト点 50%	実技テスト点 30%	平常点 20%			
教科書・教材等		中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー					
授業形態		一斉					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ		
1	4	「春」第1楽章曲の構成や曲想の変化を感じながら鑑賞する。	2				
	5	「魔王」詩の内容と曲想との関わりを感じつつ鑑賞する。	2				
		覚えているかな？記号・音楽用語の読み方と意味を確認する。	2				
	6	リズムゲームリズムを作り、拍子をきざむ。	2				
		「六段の調べ」箏曲を聴き日本の伝統音楽に親しむ。	2				
	7	「巢鶴鈴慕」尺八曲を聴き日本の伝統音楽に親しむ。	1				
2	8	「主人は冷たい土の中に」曲の構成を感じ取って歌う。	3				
	9						
	10	「喜びの歌」リコーダーの運指を確認する。	4				
		「Michael,Row The Boat Ashore」階名で歌って、ハーモニーを楽しむ。	3				
	11	「聖者の行進」リコーダーの運指を確認する。	4				
		12	「ジョーズのテーマ」イメージのもとらす音楽を感じる。	2			
3	1	「カリブ夢の島」速度や強弱の変化を感じて歌う。	3				
	2	音楽の基礎知識1音楽用語・記号の読み方と意味を理解する。	3				
	3	「サウンド・オブ・ミュージック」ミュージカルの構成と良さをと感じ取る。	2				

教科名		科目名		単位数	学年・コース		
美術		美術		1	中学1年		
科目の目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。					
学習内容の概要		表現・美術を愛好する心情を培う。心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じとる力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技術を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 鑑賞・自然の造形や美術作品などについての基本的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
		感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。		主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。		
評価の方法		テスト (鑑賞を含む)	35%	発想・構想	25%	技能 25% 授業態度 15%	
教科書・教材等		美術(光村図書)、スケッチブック					
授業形態		クラス一斉					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など			時数	探究	タグ
1	4	ガイダンス 「ショートショートを体験」ショートショートというメソッドを利用して、誰でも簡単に短編小説を書いて発表する。 「名画から物語をつくる(鑑賞)」名画を鑑賞し、想像しながらショートショートを利用して物語を書いて発表する。 「文字をデザインする」生活の中に文字のデザインがあることを理解し、レンタリングの基礎を身につける。			6	○	
	5						
	6				7		
	7						
2	8	「粘土とボックスアート」粘土を使って、立体的表現を実践する。 「色彩学」色や光の特徴を調べ、グループで発表する。			10		
	9						
	10						
	11				7		
	12						
3	1	「かるた作り(模写)」選んだ作品を忠実に模写する。			9		
	2						
	3						

教科名		科目名		単位数	学年・コース		
保健体育		保健体育		3	中学1年		
科目の目標		体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。					
学習内容の概要		単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
		運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。		
評価の方法		単元テスト	20%	技能テスト	40%	平常点	40%
教科書・教材等		ステップアップ中学体育(大修館書店)					
授業形態		男女別クラス一斉（男子クラス）					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など			時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動			5		
		体育理論					
	5	ハンドボール			12		
	6	陸上			12		
	7	バレーボール			14		
8							
2	9	ソフトボール			10		
	10	バスケットボール			10		
	11	バドミントン			10		
	12	武道:空手			6		
	3	1	ダンス 保健				
2		器械運動			8		
3		卓球			8		

教科名	科目名	単位数	学年・コース
保健体育	保健体育	3	中学1年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。		
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	単元テスト 20%	技能テスト 40%	平常点 40%
教科書・教材等	ステップアップ中学体育(大修館書店)		
授業形態	男女別クラス一斉(女子クラス)		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動 体育理論	5		
	5	陸上	12		
	6	バスケットボール	12		
	7	ハンドボール	14		
2	8				
	9	バドミントン	10		
	10	ソフトボール	10		
	11	サッカー	10		
	12	武道:空手	6		
3	1	器械運動	10		
	2	卓球	8		
	3	ダンス 保健	8		

教科名			科目名			単位数	学年・コース					
技術・家庭			技術・家庭（技術領域）			1	中学1年					
科目の目標			実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。									
学習内容の概要			(1) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決 (3) 生活や社会を支える情報の技術 (4) 社会の発展と情報の技術									
評価の観点			知識・技能			思考・判断・表現			主体的に取り組む態度			
			○処理の流れや手順を図で適切に表現できる ○プログラムの制作、動作の確認等ができる。 ○ネットワークの基本的な仕組み、セキュリティ情報モラルと発信する時の注意点を説明できる。			○双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ○問題解決とその過程を振り返り、プログラムの改善及び修正を考えることができる。			○進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。			
評価の方法			テスト	60%	平常点	40%						
教科書・教材等			技術・家庭（技術領域）（開隆堂）									
授業形態			クラス一斉									
年間学習計画												
学期	月	単元名・学習内容など				時数	探究	タグ				
1	4	ガイダンス・年間の学習スケジュールをイメージする。				3						
	5	計測・制御のプログラミングによる問題の解決 ・タブレットとワークシートを活用し。プログラミングの基礎を学ぶと共に、プログラミング的思考力を身につける。 ・プログラムの試行・試作を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめる。 ・制作工程表をもとに、安全・適切なプログラムを制作する。 ・動作の確認及びデバッグを行う。				3						
	6					4						
	7					3						
2	8					0						
	9	情報とわたしたちの生活 ・身の回りの情報技術について学ぶ。便利な生活、社会、産業などを支えている情報機器やネットワーク技術について学ぶ。				4						
	10	コンピュータと情報処理 ・情報処理の基本から、メディアの素材と利用方法や適切なアプリの選択について学ぶ。				4						
	11	情報通信ネットワークの利用 ・学校の情報ネットワークを題材にし、通信機器のしくみと基本的な構成について学ぶ。				4						
	12	情報モラルと情報セキュリティ ・情報セキュリティの必要性を理解し、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて学ぶ。				3						
3	1	Webのしくみと情報の表現 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ・HTMLとCSS、JAVAスクリプトを利用したWebページの制作と発表				3						
	2					3						
	3					1						

教科名	科目名	単位数	学年・コース
技術・家庭	家庭	1	中学1年

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
学習内容の概要	衣生活について自分らしく着ること、快適に着るための知識と技術を身につけ、生活を豊かにする物づくりをする。 また、住生活については住まいのはたらきや住空間の使い方を考え、快適な住まいについて学習する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	生活と技術について理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけているか	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を身につけているか	よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善する・生活を工夫し創造するなど実践しようとしているか
評価の方法	テスト	60%	平常点 40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	○家庭科ガイダンス	1		
		○衣生活	2		
	5	「目的に応じた衣服の選択」	2		
		・衣服で伝えるメッセージ	1		
	6	・自分らしくコーディネート	2		
		・上手な衣服の選択	2		
	7	○布を用いたものの製作	2		
		・製作しよう ミシン、手縫い（裁断・しるし付け）～（本縫い）	2		
2	8				
		○日常着の手入れと保管	4		
	9	・（本縫い）～（仕上げ）	2		
		・ミシンの操作（アレンジ）（仕上げ）	2		
	10	・衣服の汚れと手入れ	2		
		・衣服の素材に応じた手入れ	2		
	11	・衣服の洗濯	2		
		・衣服の収納・保管・補修	3		
3	12				
		○住生活			
	1	○住まいのはたらき ・住まいのはたらき	1		
		・住まいの空間	1		
	2	○安全な住まいで安心な暮らし ・家庭内事故への備え	3		
		○持続可能な住生活 ・災害への備え	3		
3	3				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学1年	必修
科目の目標	○レジリエンス教育を通して多認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。 ○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広げ、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる ○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。 これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるための基礎となる道徳性を養う。			
学習内容の概要	A主として自分自身に関すること、B主として人との関わりに関すること、C主として集団や社会との関わりに関すること、D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。 特にAでは、レジリエンス教育Ⅰを通じて自分自身の感情の向き合い方を重点的に学ぶ。 また、中学校3年間を通して様々な人権課題を学び、適切に理解することで人権意識を高める。特に中学1年次は障がいのある人の人権を中心に学ぶ。			
評価の観点	・授業後に提出するワークシートの内容 ・授業後に記入する振り返り			
評価の方法	数値等による評価はしないが、振り返り等の内容は生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握するため活用する。			
教科書・教材等	新しい道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	ガイダンス	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。行動の振り返りは毎週行い、自他でフィードバックを行う。	3		
		PBISを基にした目標の作成				
	5	自然体験学習	鳥取の郷土や自然にふれ、体験活動を行う。 体験後、自身と自然とのつながりについて考察し、振り返りを行う。	5		
	6	レジリエンスⅠ	レジリエンスⅠではレジリエンスの基礎的な知識や、感情への向き合い方、自身の捉え方について学習する。	5		
2	7	PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。	1		
	8	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。	2		
	9	身体・聴覚・視覚等障がいについて	肢体不自由、聴覚、視覚障がいについて学習し、日常生活における障壁を知ること自他の視点から配慮した行動とは何かを考える。	3		
	10	服装・マナーについて	礼儀や時と場合における適切な言動などについて学習する。	1		
		100人村ワークショップ	世界の多様性や貧富の格差などについての基礎的な学習を行う。	4		
	11	〇〇屋さんの〇〇以外の仕事	自身の身の回りの職業における仕事内容について、調査する。	2		
		盲学校交流	盲学習として、手引き体験、盲学校見学、点字学習、また実際に鳥取県立盲学校の生徒達と交流活動を通し、その中で普段自分自身では気づけい日常生 活の中で他者へ障壁を与えてしまっている物・自分の認識・社会的な構造へ気づく目を養い、解決に向けた学習をする。	4		
3	12	PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。	1		
	1	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。	1		
		命の授業	自分自身のいのちについて思考を深め、家族と自分とのつながりについて学習する。	3		
	2	もし言葉がなかったら	コミュニケーションのあり方について学習する。	2		
	3	PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学年の目標を考察する。また1年間の道徳の学習を通して学んだことを振り返る。	2		